

美術博物館の催し

リニューアルオープン記念特別展 「芦屋の美術、もうひとつの起点 — 伊藤 継郎 —」

芦屋の地で描き続けた画家・伊藤継郎（1907-1994）の没後初となる大規模な個展。新制作協会や芦屋市美術協会の中心で活躍した伊藤の作品約60点と彼が交流をもった20人の多彩な画家たちの作品を展示。伊藤の画業を美術史的・制作的観点から再検証します。

■ 期間 4月15日～7月2日



伊藤継郎、自宅アトリエにて。1940～50年代

特別展関連イベント①

学芸員による ギャラリートーク

学芸員が展示室を案内しながら解説を行います。展示会のみどころや、作品・作家にまつわるエピソードをお話しします。

■ 日時 4月22日(土)午後2時～
■ 料金 観覧料



伊藤継郎《二人の司教》1968年
油彩、布 芦屋市立美術博物館蔵

特別展関連イベント② 鑑賞&スケッチ会

「伊藤継郎が愛したモチーフ・動物を描こう！」

展示会にて伊藤の作品を鑑賞した後、動物園に出かけ、自分なりの動物の絵を描きます。

■ 日時 & 会場

(第1部) 作品鑑賞会 / 5月13日(土)午後2時～3時
美術博物館

(第2部) スケッチ会 / 5月14日(日) 午前9時30分～
午後0時30分 神戸市立王子動物園

■ 対象 小学生以上(小学生は保護者の同伴が必要) 両日参加できる
15人

■ 料金 100円(保険代)、観覧料(第1部)、動物園入園料

■ 申し込み 4月29日(土)〈必着〉までに電話かメールで下記へ
住所・氏名・電話番号をお伝えください



伊藤継郎《阿蘇の赤牛》
1961年 油彩、布
芦屋市立美術博物館蔵

アートスタディプログラム

まなびはくルーム2023 「具体」を知り尽くす

「具体美術協会(具体)」の研究者の方々を招き、「具体」の歴史、「具体」会員それぞれの作家像、再制作作品について、「具体」展を開催することの意義などをお話しいただきます。講座最後は全講師によるディスカッションを予定しています。

■ 日時 4月23日(日) 午後1時～5時
■ 定員 60人



第1回 具体美術展
1956年(小原会館・東京)
写真提供:大阪中之島美術館



【問い合わせ】美術博物館 ☎38-5432 / FAX38-5434 / ✉ashiya-bihaku@shopro.co.jp (〒659-0052 伊勢町12-25) 【開館時間】
午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【休館日】月曜日(祝日

の場合は、その翌日) 【観覧料】一般800(640)円、大高生600(480)円
中学生以下無料※()内は20人以上の団体料金※ 高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人は各当日料金の半額



美術博物館
ホームページ

谷崎潤一郎記念館の催し

リニューアルオープン記念 ～つながる文学講座～

幅広く文学に親しんでいただくための講座を開催します。4月より隔月、全6回の連続講座。「つながる文学」をテーマに、「〇〇と文学」と題し、各分野の講師の方々をお招きします。

■ 日時

- (第1回) 4月29日(土)《地域と文学》—「火垂るの墓」の阪神間—
講師: 横濱雄二氏(甲南女子大学教授)
- (第2回) 6月17日(土)《声と文学》—最晩年の宮沢賢治—
講師: 信時哲郎氏(甲南女子大学教授)
- (第3回) 8月27日(日)《恋愛と文学》—夏目漱石が描く恋愛と非恋愛—
講師: 飯田祐子氏(名古屋大学大学院教授)

各回午後2時～3時30分(第4回以降の講座はHPで案内※1回でも受講可能)

■ 定員 各回30人(要申込)
■ 持ち物 筆記用具
■ 料金 各回1,000円(観覧料込)



文学講座 「不思議の国のアリス」を読む ～英文で味わう大人の日曜日～

日本でも大人気の『不思議の国のアリス』ですが、原文だからこそその面白さを味わいましょう。物語の発端は、白ウサギ。ちょうど今年が卯年です。英語が苦手、中学で習って忘れての方でも大丈夫ですので、ピョンとご参加ください。

■ 日時 5月14日(日)1章～4章 アリスと白ウサギ
6月11日(日)5章～7章 アリスとお茶会
7月2日(日)8章～12章 アリスと女王様
各回午後2時～3時30分※1回でも受講可能
■ 定員 各回20人(要予約) ■ 持ち物 筆記用具
■ 料金 各回2,000円(観覧料込)別途教材費1,600円(3回分)



堀江 珠喜氏

リニューアルオープン記念マリンバコンサート ～春の訪れに愛を感じて～

スカルラッティ作曲「すみれ」 ブリッジ作曲「春の歌」他
(演奏)マリンバ:中治 渚氏 ピアノ:山口 彩菜氏

■ 日時 4月15日(土) 午後2時～ ■ 料金 観覧料

【問い合わせ】谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852 / FAX38-3244 / ✉ashiya-tanizakikan@shopro.co.jp(〒659-0052 伊勢町12-15)
【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【休館日】月曜日(祝日の場合は、その翌日) 【観覧料】一般500(400)円、大高生300(240)円、中学生以下無料※()内は20人以上の団体料金※ 高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人は各当日料金の半額



谷崎潤一郎
記念館
ホームページ